

議会事務局からのお知らせ

議会を傍聴(見学)してみませんか

議会では、町民生活に必要な予算（お金）や条例（ルール）などを、12名の議員が審議して、良いか悪いかを決めます。決め方は、出席議員の過半数（2分の1）以上の賛成があれば、議決（決定）ということになります。

全国の地方自治体（県・市区町村）の議会では、この審議している本会議や委員会の様子を、誰でも傍聴することができます。

住民に開かれた議会とするための一つの手段として、住民が参加しやすくする事と公開制、透明性を高めるための仕組みです。

では、現実はどうでしょうか。

平成28年度の実績では、年4回の定例議会と2回の臨時議会で、24件の条例制定や改正、42件の予算、10件の決算などを審議しましたが、傍聴者は延べ27名に留まりました。

また、定例会では開会日に一般質問が行われ、行政一般事務について、議員が自ら問題としていることを、町長や執行部に問いかけます。

FM告知放送や議会だよりでも傍聴の呼びかけをその都度していますので、ぜひ一度議会にお出かけください。

お待ちしております。

お問合せ 役場本庁舎 3階 議会事務局 ☎66-3415(直通)

出納室からのお知らせ

町に納付していただく、税金や使用料等の取り扱いにつきましては、住民税等の事業所において給与から天引きして納付していただく特別徴収や後期高齢者医療保険等の年金からの特別徴収により納付していただくものがありますが、それ以外に納付書による普通徴収や使用料、利用料等があります。

普通徴収の内、金融機関の口座からの振替え納付以外の納付書によるものや使用料、利用料等につきましては、役場出納室や金融機関の窓口等でも納付できます。

なお、所得税等の国税や自動車税等の県税は出納室の窓口では納付できませんのでご注意ください。

○納付書による納付のできる金融機関

山梨中央銀行・ふじかわ農業協同組合・山梨県民信用組合・静岡銀行・清水銀行・スルガ銀行・みずほ銀行

○出納室で納付できるもの

住民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料・水道料・介護サービス利用料・住宅使用料・保育料・学校給食費・施設使用料・有料告知放送料等

○ゆうちょ銀行で納付できるもの

住民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税

○コンビニで納付できるもの

住民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税

※出納室での取り扱いは、平日の午前8時30分～午後5時15分までです。

また、町から報酬、賃金等の支払いがある方につきましては、個人番号が必要になります。

関係各課から個人番号の提出を求められることがありますのでご承知置き下さい。

なお、一度提出し、役場に登録していただいている方は、提出していただく必要はありません。

個人番号は、出納室で厳重に管理しています。

平成28年度 決算

財政課より町議会
9月定例会で認定
されました「平成28
年度決算」の概要
をお知らせします。

一般会計

歳入

歳入 60億1,202万9千円
(前年度比 3,750万6千円増)

■歳入の特徴

- ① 町税は、納税者数の減少により個人住民税は減となりましたが、中部横断自動車道建設事業者の好況に伴い法人町民税が増となり、前年度から2,005万9千円の増となりました。
 - ② 地方消費税交付金は、人口(国勢調査)が減少したことにより前年度から2,110万2千円の減となりました。
 - ③ 地方債は、道路整備事業及び橋梁整備事業などに充てるため、過疎債、合併特例債を前年度から58,480万円増額しました。
- 歳入のおよそ半分は地方交付税で

歳出

歳出 54億7,955万6千円
(前年度比 1億0,773万8千円増)

■歳出の特徴

- ① リバーサイドパーク及び富士見台分譲地の整備や交流促進施設造成工事にかかる経費として1億6,341万9千円を支出し、地域の活性化を図りました。
 - ② 災害や緊急を要する経費及び少子高齢化に伴う社会保障費の増大に備えて、決算剰余金から3億5,600万円を基金に積み立てました。
 - ③ 高齢者人口の増加や臨時福祉給付金の増額など社会保障関連経費の増加により、扶助費が前年度から1,548万2千円増えています。
- 町では、補助金の見直し、公債費や職員数の削減など行財政改革に積極的に取り組む、財源の確保に努めています。

賄われています。しかし、その地方交付税も3年前の平成25年度と比較すると、約2億1,000万円減少しています。

●一般会計の決算状況

単位：千円

歳入	歳出	差引
6,012,029	5,479,556	532,473
翌年度への繰越財源		4,804
実質収支		527,669

●平成28年度の主な施策

単位：千円

区分	事業費
公園整備事業	90,599
宅地分譲事業	32,207
交流促進施設整備事業	40,613
合併浄化槽設置補助事業	24,928
農道水路整備補助事業	12,372
なんびの湯改修整備事業	10,735
道路新設改良事業	215,194
道路維持事業	44,214
橋梁改良事業	98,752
泉堂中山間地域総合整備事業(負担金)	42,000

●特別会計の決算状況

単位：千円

区分	歳入	歳出	翌年度への繰越財源	実質収支
簡易水道事業	674,925	659,758		15,167
指定居宅サービス	81,664	73,845	2,029	5,790
国民健康保険	1,297,472	1,138,804		158,668
直営南部診療	107,443	91,715		15,728
直営万沢診療	86,314	77,233		9,081
介護保険	1,218,495	1,156,080		62,415
後期高齢者医療	226,913	223,399		3,514
睦合財産区	328	296		32
富沢財産区	3,782	3,121		661
大城平外二山財産区	307	225		82
大日向外三山財産区	156	125		31

特別会計

町には、一般会計のほか9つの特別会計があります。これらを全て合わせると、歳入総額は36億9,779万9千円、歳出総額は34億2,460万1千円となります。決算は次のとおりです。

●健全化判断比率

単位：%

区分	南部町比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	15.0	20.0
連結実質赤字比率	-	20.0	30.0
実質公債費比率	4.9	25.0	35.0
将来負担比率	-	350.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字が生じていないため、また、将来負担比率は、将来負担額がないため「-%」で表記

●資金不足比率

単位：%

特別会計名	南部町比率	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	-	20.0

※資金不足比率は、資金不足が生じていないため「-%」で表記

南部町の財政の健全性を示す5つの指標

「地方自治体の財政の健全化に関する法律」の規定により、平成28年度決算に基づく4つの健全化判断比率と公営企業の資金不足比率を算出しました。平成28年度は、いずれの指標も財政上のイエローカードを表す「早期健全化基準」を下回り、健全性が保たれていることを示しています。

- 実質赤字比率 …… 町の収入に対する一般会計などの赤字割合
- 連結実質赤字比率 …… 町の収入に対する全会計の赤字割合
- 実質公債費比率 …… 町の収入に対する借金返済額の割合
- 将来負担比率 …… 町の収入に対する将来的に負担が見込まれる負債の割合